

総務委員会 活動報告書（令和８年４月～）

活動日	項 目	内 容
令和８年 ５月１２日（火） （閉会中の開催）	現地視察の実施	◆視察先：東京都立川市 所管事務調査「防災・減災体制の構築と危機管理の在り方について」に関わる防災関連施設の調査のため、東京都立川地域防災センター及び東京都多摩広域防災倉庫を訪問しました。 ・東京都立川地域防災センター：担当者から「多摩地域の新たな防災拠点の整備に向けた基本計画」や新たな防災拠点の具体的な機能などの説明を受け、その後、立川地域防災センターを見学しました。 東京都立川地域防災センターは、東京都災害対策本部の４位の代替施設としての機能を有しており、「多摩地域の新たな防災拠点の整備に向けた基本計画」で、防災センター機能は移転されるが、移転後も必要な整備を行い、都民向けの普及啓発・体験施設、サテライトオフィス、各局の災害時活動スペースなど多様な活用が検討されています。 ・東京都多摩広域防災倉庫：担当者から発災時に国や民間事業者等からの支援物資を受け入れ、区市町村に輸送する広域輸送基地としての機能に加え、発災後直ちに必要となる支援物資を保管する倉庫としての機能を有している、との説明を受け、その後、東京都多摩広域防災倉庫を見学しました。 東京都多摩広域防災倉庫は、平成２８年７月に、救出・救助、医療活動、物資調整、訓練・普及活動等の災害対応を担う様々な活用や相互の連携を支え、災害

6月11日(木) (第2回定例会 中の開催)	陳情審査及び所管 事務調査の協議等	対応力を向上させる広域的な防災拠点として、農林水産省の食糧事務所と災害用の米の備蓄倉庫として国が建設した施設を購入。また、単なる備蓄品保管施設ではなく、多摩地域全体の防災拠点として広域連携を前提に運用されています。 ◆陳情5件の審査 副市長及び関係部課長の出席を求め審査を行いました。 ・8第2号陳情「東大和市議会事務局設置条例の疑義解明を求める陳情」 1名の委員から質疑があり、2名の委員により自由討議が行われました。討論なく、起立による採決を行った結果、起立はなく、本陳情は不採択と決しました。 ・8第3号陳情「東大和市議会行政手続条例施行規則の疑義解明を求める陳情」 質疑、自由討議、討論なく、起立による採決を行った結果、起立はなく、本陳情は不採択と決しました。 ・8第4号陳情「東大和市議会設置条例の疑義解明を求める陳情」 質疑、自由討議、討論なく、起立による採決を行った結果、起立はなく、本陳情は不採択と決しました。 ・8第8号陳情「中東情勢に伴うエネルギー価格高騰に対する市民向け相談窓口の設置を求める陳情」 1名の委員から質疑があり、2名の委員により自由討議が行われました。1名の委員から賛成の立場で討論があり、起立による採決を行った結果、起立少数により、本陳情は不採択と決しました。 ・8第9号陳情「皇室の伝統に基づく安定的皇位継承の国会論議促進を求める意見書提出に関する陳情」 審査においては、陳情内容を踏まえ、説明員の出席を求めず、直ちに自由討議
---------------------------------------	------------------------------	--

		を行いました。4名の委員により自由討議が行われ、この陳情については採択、不採択ということはあまりなじまず、本来的には趣旨採択で一致していくことが一番望ましいのではないかと考えている、との意見表明がありました。委員間で協議の末、意見の相違が図られなかったため、趣旨採択には至らず、1名の委員から反対の立場で討論があり、起立による採決を行った結果、起立多数により、本陳情は採択と決しました。 ◆所管事務調査の協議について 「1 市の防災及び防犯対策のうち市民生活部の所管に関すること」 令和8年3月から5月までの災害対応について、タブレットへの資料掲載により報告がありました。 「2 防災・減災体制の構築と危機管理の在り方について」 5月12日に防災関連施設の調査のため視察した、東京都立川地域防災センター及び東京都多摩広域防災倉庫の視察内容について意見交換を行いました。
--	--	--